

2025年5月29日



株式会社海遊館 広報・宣伝チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通1-1-10
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<https://www.kaiyukan.com/>
(担当: 萱島、田井、松村、松元)

海遊館初展示! 大型のサメ「シロワニ」の展示を開始しました。

海遊館（大阪市港区）は、大型のサメ「シロワニ」の展示を開始しました。本種の展示は海遊館初です。



シロワニ



シロワニの頭部

シロワニは、全長4mを超える、大型のサメの仲間です。大きな歯がむき出しの恐ろしい顔つきとは裏腹におとなしい性格で、サンゴ礁や沖合の浅瀬、水中の洞窟などに生息しています。IUCN（国際自然保護連合）のレッドリストでは「深刻な危機（CR）」に指定されている、絶滅危惧種でもあります。

今回搬入した個体は、東海大学海洋科学博物館（静岡県静岡市）で飼育されていた、全長2.7mのメスと2.5mのオス、計2尾です。大型の個体のため、2025年5月12日（月）にメスを、2025年5月15日（木）にオスを、それぞれ単独で大型活魚車を用いて輸送し、ジンベエザメなどが暮らす「太平洋」水槽へ搬入しました。

シロワニの大型個体の長時間輸送はあまり例がなく、今回の輸送は6時間に及んだため、搬入後はしばらく様子を見ていましたが、遊泳が落ち着き、摂餌が確認できたのでお知らせします。

展示概要は別紙に記載します。

別紙

【 シロワニ展示概要 】

- 展示場所：「太平洋」水槽
- 展示個体：
 - ・メス（全長 2.7m）
 - 2025年5月12日（月）搬入
 - ・オス（全長 2.5m）
 - 2025年5月15日（木）搬入
- その他の展示：生きものの状態により、予告なく展示を中止、終了する場合がございます。



左：オス 右：メス

【 シロワニについて 】

英名：Sand tiger Shark

学名：*Carcharias taurus*

全長4mを超える大型のサメ。サンゴ礁や沖合の浅瀬など暖かい海に生息し、日本では伊豆七島や小笠原諸島を含む南日本海域に分布する。日中は海底の洞窟などに潜み、夜間に活動する夜行性で、他の魚類を主な餌とする。恐ろしい顔つきとは裏腹に、性格はおとなしい。胎生で、子宮を2つ持ち、1度の繁殖で全長約1mの仔を最大2尾産出する。胎児は子宮内の他の卵や兄弟姉妹を食べて成長することで知られる。

【 お問い合わせ先 】

海遊館 広報・宣伝チーム 06-6576-5529 (平日 9:00~17:30)

(以上)